

看護学研究所紀要第17号： 目次,投稿規程,編集後記,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2082

第 17 号

目 次

原著

病棟機能変更の再編成にかかわる看護師長のマネジメントプロセス
— 一般病棟から地域包括ケア病棟への変更 —

..... 渡 邊 佐恵美・酒 井 美絵子 1

資料

看護師が行う臨床推論に関する文献検討

..... 河 嶋 知 子 11

その他

実践報告：母性・小児・成人・老年・精神看護学教員による領域横断型看護技術演習‘安楽へのケア’

..... 山 本 撰 子・長 谷 美智子・福 田 友 秀 21
青 木 恭 子・那須野 順 子・石 橋 タ ミ
小野寺 悠 斗・小 林 幹 紘・清 水 なつ美
長 沼 幸 司・栃 原 綾・高 橋 朋 子
高 田 幸 江

FD報告書

質問紙調査実施のために知っておきたいこと 土 屋 雅 子 31

シミュレーションを企画する際の目標設定や他科目（講義・演習・現任研修）との効果的な関連のさせ方

..... 内 藤 知佐子 35

看護基礎教育におけるシミュレーションの教育デザインと実践 西 村 礼 子 39

武蔵野大学看護学研究所紀要投稿規程

1. 投稿者の資格

紀要へ投稿できる筆頭著者は、武蔵野大学看護学研究所研究員（教員）、客員研究員、大学院生および修了生とする。しかし共著論文の場合にはこの限りではない。

2. 提出期日

紀要委員会の定める期日（毎年9月第4金曜日）までに提出するものとする。期限を過ぎたものに関しては、一切受理しない。

3. 掲載採否・原稿の種類

投稿原稿の採否・原稿の種類は、査読を経て、査読者の意見に基づいて紀要委員会で決定する。

4. 原稿の種類

1) 本紀要は大学の機関誌であって、本学における教育・研究領域に関する原著、研究報告、総説、資料、その他を掲載する。それぞれの内容は次のとおりである。

〈原著〉

特定のテーマにそって行われた研究で調査や観察、実験のデータに基づき、新たな知見や理解が論述されているもの。

〈研究報告〉

研究結果の意義が大きく、原著には及ばないが、内容が看護学分野の発展に寄与するもの。

〈総説〉

特定のテーマに関連した研究等を統括し、解説したもの。

〈資料〉

調査データや文献などにより得られたデータ・記録で看護学の参考になるもの。

〈その他〉

紀要委員会が特に認めたもの。（実践報告、研修会報告書、研究所主催の活動報告等）

*ただし、その他へ投稿した文書については、原稿執筆の要項遵守この限りではない。

2) 原稿は和文、英文のいずれでもよい。

3) 原稿は未発表のものに限る。

4) 原稿は1人1編に限る。但し、共著者の場合はこの限りではない。

5) 原稿の種類が著者の要望と異なるものへ変更される場合がある。この場合、掲載前に紀要委員長より著者

に対して通知する。

5. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されなくてはならない。原則として倫理委員会の審査を受けること。

6. 投稿時の提出物と提出方法の手続き

1) 投稿論文チェックリストをダウンロード、もしくは紀要巻末よりコピーし、原稿の確認を行う。

2) 投稿時は、表紙、原稿本文、和文抄録、英文抄録（原著、研究報告、総説のみ）を1つのフォルダに保存する。ファイルには正本と初回投稿時に付与された名前を付ける。また、副本用ファイルを作成し、封本は、著者名、所属、謝辞等、投稿者を特定できる事項を削除する。（9.原稿執筆の要領に則り作成する）

3) 上記2)の全てをPDFに変換した投稿論文とチェック済みの投稿論文チェックリスト1部をPDFにしたものも合わせて、以下の方法で提出する

4) 上記2)の全てとUSBおよびチェック済みの投稿論文チェックリスト1部を封筒に入れ、以下のいずれかの方法で提出する。

(1) 所定の専用メールにて、投稿希望を伝える

(2) 指定された専用ドライブに投稿する。

4) 再投稿の場合も、1)～3)の手続きとする

5) 再投稿の場合も、1)～4)の手続きとする。

7. 最終原稿の提出

表紙、原稿本文、和文抄録、英文抄録の原稿全てをWordファイルとして保存し、専用ドライブに提出する。

8. 著者校正

著者校正は原則として1回までとする。校正時の大幅な加筆訂正は認めない。

9. 原稿執筆の要領

1) 原稿は、パソコンを用い、Wordファイル日本語もしくは英語を用いて作成する。和文原稿の場合はA4版横書きで、1ページ40字×40行とし、12枚以内（図表を含む）とする。本文は、ひらがな、現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きする場合は、カタカナとする。数字は算用数字を使用する。

2) 英文原稿の場合はA4版で1ページ80文字×40

行、ダブルスペースとし、12枚以内（図表を含む）とする。

- 3) 本文にはページ番号を挿入する。
- 4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の通し番号をつけ、本文とは別に1枚1点とし、本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。
- 5) 謝辞や助成（あれば）の次に、利益相反の欄を儲け、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。すなわち、A) 利益相反となるような外部との経済的な利益関係等がある場合には、その旨を明記する。B) 利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。
- 6) 文献の記載方法はAPAstyleとする。
具体例に関しては以下に示す。

【定期刊行物】

- ・ 著者名（発行年）、論文タイトル。
定期刊行物の名称、xx, xxx-xxx.

【非定期刊行物】

- ・ 著者名（発行年）、著作物のタイトル、出版地：出版社。

【非定期刊行物の一部（書籍中にある章）】

- ・ 著者名（発行年）、章のタイトル、編者名、書籍のタイトル、(pp.xxx-xxx)、出版地：出版社。

【翻訳された書籍】

- ・ 著者名（原綴りのまま）（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）、邦題（pp.xxx-xxx）、出版地：出版社。を日本語で記す。

【オンライン上の文献】

- ・ 著者名（発行年）、タイトル、定期（不定期）刊行物の名称、xx, xxx. from アドレス

7) 原稿には表紙を付す。表紙には、上半分に希望する論文の種類、表題、英文表題、著者名（ローマ字も）、所属機関名、図、表および写真等の数、キーワードを日本語・英語でそれぞれ5語程度記載する。下半分に紀要委員会への連絡事項及び著者（共著の場合は筆頭者）の連絡先（住所、電話、Fax、e-mail）を記載する。

8) 和文抄録は400字程度とする。用紙1枚に表題、キーワード、本文の順に記載する。抄録には原則として、目的・方法・結果・結論の項目をつけ、それぞれにつき簡潔に述べる。原著、研究報告、総説には250words前後の英文抄録（Abstract）をつける。

英文抄録は用紙1枚に表題、キーワード、本文の順にダブルスペースで記載する。

9) 本紀要に投稿される論文に関する著作権は、武蔵野大学看護学研究所に帰属する。帰属の時期は原則として最終原稿が投稿された時点とする。最終原稿提出時、紀要委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、PDF化したものと論文とともに提出すること。

10. 著作権

本紀要に投稿される論文に関する著作権は、武蔵野大学看護学研究所に帰属する。帰属の時期は原則として最終原稿が投稿された時点とする。最終原稿提出時、紀要委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに提出すること。

11. 著者が負担すべき費用

- 1) 別刷超過部数に関わる費用は著者負担とする。
- 2) その他、図表等、印刷に特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

12. この規定の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

附則

この規定は、平成18年10月25日から施行する。
この規定の改正は、平成21年1月28日から施行する。
この規定の改正は、平成23年3月1日から施行する。
この規定の改正は、平成24年4月1日から施行する。
この規定の改正は、平成26年4月1日から施行する。
この規定の改正は、平成30年4月1日から施行する。
この規定の改正は、令和2年4月1日から施行する。
この規定の改正は、令和4年5月1日から施行する。

投稿論文チェックリスト

- 1. 投稿者は、武蔵野大学看護学研究所研究員（教員）、客員研究員、大学院生および修了生である。
- 2. 表紙に希望する論文の種類を記載している。
- 3. 投稿論文の内容は、未発表のものである。
- 4. 倫理的配慮について、本文中に具体的な内容を記載している。
- 5. 投稿時は、表紙、原稿本文、和文抄録、英文抄録（原著、研究報告、総説のみ）を初回投稿時に付与された名前を付け1つのファイルに保存し、正本用ファイルと副本用ファイルを準備している。
- 6. 上記5の原稿全てを Word ファイルから PDF に変換保存し準備している。
- 7. 和文原稿は、A4 版横書き、1 ページ 40 字× 40 行、12 枚以内（図表を含む）である。
- 8. 和文原稿の本文は、ひらがな・現代仮名遣いで、外国語を仮名書きする場合は、カタカナとし、数字は算用数字を使用している。
- 9. 英文原稿の本文は、A4 版横書き、1 ページ 80 字× 40 行、ダブルスペースで、12 枚以内（図表を含む）である。
- 10. 本文にページ番号を挿入している。
- 11. 図、表および写真は、それぞれに通し番号をつけている。
- 12. 図、表および写真は、本文とは別に 1 枚 1 点とし、本文原稿右欄外に挿入希望位置を朱書きで指定している。
- 13. 利益相反の有無を記載している。
- 14. 文献は、APA style で記載している。
- 15. 表紙には、上半分に希望する論文の種類、表題、英文表題、著者名（ローマ字とも）、所属機関名、図、表および写真等の数、キーワードを日本語・英語でそれぞれ 5 語程度記載している。下半分に紀要委員会への連絡事項、著者（共著の場合は筆頭者）の連絡先（住所、電話、Fax、e-mail）を記載している。
- 16. 副本は、著者名、所属、謝辞、承認を受けた倫理委員会の名称を特定できないようにマスキングしている。
- 17. 副本は、引用文献において投稿者らが自身の論文を引用する場合、投稿者らを特定できないように全ての事項をマスキングしている。
- 18. 和文抄録は、400 字程度とし、用紙 1 枚に表題、キーワード、本文の順に記載している。
- 19. 原著、研究報告、総説には、250 words 前後の英文抄録をつける。英文抄録は、用紙 1 枚に表題、キーワード、本文の順にダブルスペースで記載している。
- 20. 本文の誤字脱字、記載内容などに欠落がないか確認している。
- 21. 書類、様式も全て整っている。
- 22. 投稿論文チェックリストにすべてチェックを入れている。

編集後記

今年度の看護学研究所紀要第17号は、原著論文1編、研究報告1編、その他1編を掲載することができました。また、研究活動報告の一貫としてFD研修の内容を一部掲載しております。今後は、各個人の研究活動報告も掲載されることを期待しております。3年間の制限のある環境からウィズコロナの時代となり、看護研究の方法もこれに合わせて変容しています。例えば、これまで対面で実施していたインタビューは、WEB会議ツールの活用することで対象選定の幅を広げることが可能となりました。社会情勢を踏まえながら、研究を止めないための研究者の皆様の努力と柔軟性が第17号の発刊につながったと思います。

また、紀要への投稿規定も時代の変化に合わせて大きく改訂をいたしました。これまで、対面または郵送による対応をしておりましたが、今年度より電子媒体を活用しペーパーレス化にいたしました。システムとして至らない点多々あり、投稿者ならびに査読者の皆様にはご不便とご心配をお掛けいたしましたこととお詫び申し上げます。次年度に向け、よりスムーズは投稿ができるよう修正をしていく予定です。

今後は、看護学科、看護学研究科に携わる院生をはじめすべての研究者による研究活動が活発に行われ、看護の質的な向上へと貢献できるように、本紀要への積極的な投稿をお願いいたします。

本年度もコロナ禍のなか、ご多忙な日々を過ごしながら投稿していただいた方のご精励に敬意を表します。また、査読の皆様には論文内容が充実するように心温かなご指摘やご指導をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。さらに、FD委員会にもご協力いただき、研究活動報告書への掲載が叶いましたことも御礼申し上げます。

今後も、看護学研究所紀要のさらなる充実のために、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

武蔵野大学看護学部紀要委員会

委員長 遠山 寛子

委員 志賀 由美

青木 恭子

小林 幹紘

武蔵野大学看護学研究所紀要 第17号

2023年3月1日発行

発行 武蔵野大学看護学研究所

〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3

電話 03-5530-7333 (代表)

印刷 株式会社 文伸

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17

電話 0422-60-2211
